



Interview

## ふじわら動物クリニック 藤原 絵美子 さん



福岡県久留米市出身。公務員獣医師として働いた後に、勤務医を経て、令和3年12月にふじわら動物クリニックを開院。市内唯一の動物病院として、地域の動物たちの健康を守っている。

## いちばん大切なのは「チャレンジしてみよう」という気持ち

—今の仕事を始めたきっかけを教えてください。

**藤原** 獣医師を志したのは中学生の時です。車にひかれてしまった子猫を目の当たりにして、それがすごく悲しくてもともと動物のことが好きだったのもありますが、動物を助けたらいい気持ちを抱くようになったんです。それから高校生のころ、SARSウイルスが世界的に流行したこともきっかけの一つです。これは動物から人に感染する病気で、そのような感染症があるということに興味を持ちました。動物病院を開業したのは、子育てと仕事を両立させたいという思いからです。開業前は別府市の動物病院に勤めていて、国東から通勤していました。当時の国東市には動物病院がなかったこともあり、「この地域の動物たちと飼い主さんの力になりたい」という思いで開業を決意しました。

—今の職場に飛び込むことに抵抗はありましたか？

**藤原** 獣医師という職業そのものに対しては、獣医師になりたい思いがあったので抵抗はありませんでした。獣医師の進路にはさまざまな選択肢があるので、どの道を選ぶべきかは正直悩みましたね。

一方で、開業についてはやはり迷いがありました。ちゃんとやっていける

のか、患者さんが来てくれるのかという不安はもちろんありましたし、何より、最初から私一人ですべてを担うことになるという覚悟が必要でした。責任の重さから、「このまま勤務医として続けた方が安心なのでは」ということもありました。

それでも開業を決意したのは、子育てとの両立を実現したいという思い、そして何より、国東市に動物病院がなかったので地域のニーズに応えたいという気持ちがあったからです。不安でしたが、周囲の応援もあって思い切って一步を踏み出しました。

—子育てと仕事はどのように両立していますか？

**藤原** 病院では受付から診療、会計、雑務まですべて私一人でこなしていますが、夕方は子どものお迎えに間に合うように診療時間を無理のないように調整しています。ただ、開業当初は子どもがまだ小さく、仕事と子育ての両立はとても大変でした。現在は開業から3年以上が経ち、忙しい時期の傾向もつかめるようになってきたので、仕事と子育てと良いバランスが取れていると感じています。

—ジェンダーによる悩みを感じたことはありますか？

**藤原** ジェンダーによる悩みを実感したことはありませんね。もちろん、患

者さんにとっては、男性の先生が良いということはあるかもしれませんが、そういったことを直接言われたことも、雰囲気として感じたこともありません。

むしろ、うちに患者さんを連れて来るのは女性の方が多いですから、話しやすくて安心したといわれることの方が多いですね。

—国東で起業や働くことを目指している女性へのメッセージをお願いします。

**藤原** 国東の方々は本当に優しく、温かい方が多いと感じています。私が開業の準備をしていた時も、たくさんの方に励ましや応援の言葉をいただき、とても心強かったです。また、市や県

の創業支援制度も活用でき、大きな助けになりました。

私は獣医師の資格を活かして開業しましたが、実際に一歩踏み出してみたい、いちばん大切なのは「チャレンジしてみよう」という気持ちだと感じました。

国東は新しいことに挑戦できる環境が整っていますし、応援してくれる人はきっといます。やってみることがあれば、まずは小さなことからでも行動に移してみるのがいいと思います。

